

魅せます！紙芝居展

紙芝居は、絵を観て演じ手の演技を楽しむメディア。国際児童文学館は、街頭紙芝居だけでなく印刷紙芝居もあり、貴重な資料を多く所蔵しています。

印刷紙芝居の始まりと言われる今井よねによるキリスト教関連の紙芝居から、現在も演じ続けられている高橋五山の紙芝居、戦時下国策宣伝紙芝居、戦後に作られた宮沢賢治などの名作紙芝居、海外への広がりなど、紙芝居のながーい歴史を一気に魅せます。



『オニノツリハシ』高橋五山/作 中川ハルオ/画 全甲社紙芝居刊行会 1943.3

2019年11月15日(金)～12月28日(土)

- 場所：大阪府立中央図書館 1階展示コーナーA・B、国際児童文学館
- 開館時間：午前9時～午後7時（土日祝および国際児童文学館は午後5時まで）
- 休館：期間中、月曜および12月12日（木曜日） ●入館無料

〈協力〉一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

関連イベント

*障がいなどの状況により、配慮が必要な方は、事前にご相談ください。

講演会「紙芝居の歴史から子どもの読書文化について考える」

【日 時】2019年11月30日(土) 午後2時～4時

【場 所】大阪府立中央図書館 2階大会議室

【講 師】浅岡 靖央さん(児童文化研究者・白百合女子大学教授)

【対象者】子どもの本に関心のある方ならどなたでも 60名(申込先着順)

【参加費】1000円

【主 催】一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

(お問合せ・申込先) 電話：06-6744-0581

URL：<http://www.iiclo.or.jp/>

大阪府立中央図書館 国際児童文学館

近鉄けいはんな線 荒本駅下車(1号出口)北西へ400M

電話 06(6745)0170 FAX06(6745)0262 <http://www.library.pref.osaka.jp/site/jibunkan/>